

CASBEE-建築(新築)2016年版
地下鉄七隈線中間駅(仮称)

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.5
Q1 室内環境							0.31		-	3.8
1 音環境						3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.67	-	-	
1.2 遮音						-	-	-	-	
1 開口部遮音性能						-	-	-	-	
2 界壁遮音性能						-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	-	-	
1.3 吸音						3.0	0.33	-	-	
2 温熱環境						3.4	0.35	-	-	3.4
2.1 室温制御						3.9	0.50	-	-	
1 室温						3.0	0.51	-	-	
2 外皮性能						-	-	-	-	
3 ゾーン別制御性		B2休憩室A・Bには天井輻射パネルによる空調方式を採用				5.0	0.49	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						4.2	0.25	-	-	4.2
3.1 昼光利用						-	-	-	-	
1 昼光率						-	-	-	-	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備						-	-	-	-	
3.2 グレア対策						-	-	-	-	
1 昼光制御						-	-	-	-	
3.3 照度						3.0	0.35	-	-	
3.4 照明制御		点滅制御はリモコン化、センサ・スケジュール制御による調光等				5.0	0.65	-	-	
4 空気質環境						4.3	0.25	-	-	4.3
4.1 発生源対策						4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆建材の採用				4.0	1.00	-	-	
4.2 換気						4.5	0.30	-	-	
1 換気量		建築基準法換気量の1.4倍以上の換気量を確保				5.0	0.50	-	-	
2 自然換気性能						-	-	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		給気塔と排気塔の離隔距離約7.5mを確保				4.0	0.50	-	-	
4.3 運用管理						5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御		全館禁煙				5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	4.0
1 機能性						4.5	0.40	-	-	4.5
1.1 機能性・使いやすさ						5.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		広いコンコース空間				5.0	0.46	-	-	
2 高度情報通信設備対応						-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		拡幅改札口設置、車椅子使用者便房2か所設置等				5.0	0.54	-	-	
1.2 心理性・快適性						4.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		執務室高さ2.7m確保				4.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース		執務スペースの確保、休憩室にキッチンを配置				4.0	0.33	-	-	
3 内装計画		取組み4項目 (コンセプト、機能、照明、事前検証)				5.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理						4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		維持管理が容易な仕上げ材を採用				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		清掃用の諸設備を各所に配置				4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.7	0.30	-	-	3.7
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.8	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		重要度係数1.25				4.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.6	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		必要更新間隔の長い仕上げ材を採用				5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		空調配管・給水管・給湯管はポリエチレン管(B)を採用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						4.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		節水型機器採用、地上型汚水槽採用、中水利用				4.1	0.20	-	-	
3 電気設備		非常発電設備、UPS設置、受電設備の二重化				5.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		耐震クラス:Aクラス				4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		ネットワーク機器を含む重要設備用のUPS設置等				4.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.8	0.30	-	-	3.8
3.1 空間のゆとり			5.0	0.43	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上確保	5.0	1.00	-	-	
2	空間の形状・自由さ		-	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.57	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39	-	-	2.9
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		はかた駅前通り景観形成地区に配慮した外観	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		周辺地域の特性を取り入れた内装材を使用	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制			1.0	0.01	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.38	5.0	0.62	-	-	5.0
4 効率的運用			3.5	0.25	-	-	3.5
集合住宅以外の評価			3.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	照明、コンセント、空調動力各種設備の消費電力量モニタリング	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.5	0.20	-	-	3.5
1.1 節水		自動水栓、節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.3	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	中水を利用	4.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		再利用できるユニット部材の使用等	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		-	-	-	-	
3	冷媒		3.0	1.00	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮			4.3	0.33	-	-	4.3
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止		燃焼機器の設置なし	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	1.00	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		-	-	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	適切な照明計画による光害抑制	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	